

農業、林業の振興と 社会資本の整備の推進



質問者
飯田 一 議員

① 農業、林業の保護、育成は

当町は、みかんや茶が主要作物として生産されていますが、耕作放棄面積が増加し、また、森林においても荒廃面積が増加しているのが現状です。今後の対策をお伺いいたします。

② 町道寄4号線の拡幅、整備を

町道寄4号線は県道710号線から秦野方面に抜ける道路です。秦野方面への通勤、通学等のための生活道路として交通量の多い道路ですが、特にゴルフ場に隣接した坂の部分の道路の状態が非常に悪く、早急に対策と県道への移管を。

③ 学童保育時間の延長と放課後におけるパソ

コン等の自由学習施設の開設を

寄地区は、職場を近隣市町に求めている場合が多く、職場を定時で終了しても帰宅が遅くなり、保育時間内に間に合いません。一時も早く保育時間の延長の実現を。

新たな農者として、耕作放棄地の減少を
回答 (町長)



① 「耕作放棄地の再利用緊急対策」として、国

県により、いろいろな取り組み支援制度がある。また、改正農地法

により、土地を取得し

農家となるための下限面積が20aとなる。新規就農者が当町の農地を取得するに当たって、耕作放棄地の減少につながるべきである。

③ 学童保育の延長については、前後1時間づつの延長を来年度から実

地は、抜本的な舗装打ち換えも視野に入れて検討したい。

② 県の補助金が仰げられる等の課題を克服した上で、

「耕作放棄地の再利用緊急対策」として、国県により、いろいろな

取り組み支援制度がある。また、改正農地法



寄茶畑

施したい。

※1：水源の森林づくり
協力協約推進事業
神奈川県が指定した水源林工口
ア内で推進している補助事業（水

行政課題について



質問者
菅谷 一夫 議員

地方分権の進展に伴い、

基礎自治体の自立と発展が益々強く求められております。政府も国の事業仕分け等の精査を踏まえ、地域主権の政策推進を強く施行されると考えますので、次年度予算編成にあたり、町長に伺います。

① 平成22年度予算見

通しとして、町民税の個人、法人、固定資産税の規模の予測は、また、一般会計予算の規模と後年度の財政状況の推計は

② 臨時財政対策債や減税補填債等の起債及び償還の方針は

源の森林づくり事業」の中の「

※2：地域林業形成促進事業
町の森林整備事業計画に基づき
町と森林整備に関する協定を締結した森林所有者等が行う森林整備の経費の一部を助成する事業

③ 国は様々な施策を標準人口30万人規模で検討されていると考えて

おりますので、広域連携等による介護福祉や地域医療、防災、教育、地場産業等々について、町長の所信は

① 22年度の個人法人町民

点の視察
業務の
新たな
事務直
見直し
回答 (町長)



税は、経済状況や雇用情勢等の悪化で、個人

は前年度比12%減の6億5千万円程度、法人も業績低迷で半減の2千万円位ですが、固定資産税が若干の増が見込まれ、町税全体で16億円位と試算しており、一般会計規模も34億36億円程度と思われる。

② 地方交付税減額の穴埋

性的性格の臨時財政対策債の20年度末残高は14億7千5百万円を始め、減税補填債4億5百万円、減収補填債1億円、臨時税収補填債4千5百万円等々となっているが、この起債は整備事業債と異なり、交付税に算定される有利な起債であるから、町側は出来る限り活用していきたい。

① 22年度の個人法人町民